

しばやま『スター名鑑』

#4

このコーナーでは、さまざまな分野で活躍する町内のスターを紹介します。



菅澤 彰人 / AKITO SUGASAWA (菱田宿)

平成13年8月4日生まれの18歳。平成29年、東京学館高等学校に入学後「中学では何も成し遂げられなかったけれど、写真なら自分の表現したいものを自由に表現できる」と思ったことをきっかけに、写真部に入部しました。

— 千葉県合同写真展で金賞を受賞

高校入学後、写真部に入部した菅澤さんは、カメラが好きな友人と一緒に成田山や佐倉市、成田空港、秋葉原などさまざまな場所で写真を撮り、その写真の反省点を互いに指摘し合うなどして日々写真の技術を高めていきました。そしてその努力が実を結び、令和元年9月9日に開催された千葉県合同写真展では、課題部門・自由部門合わせて1,325点の作品がある中、自由部門において「金賞」を受賞しました。

— 写真を撮るとき的心境

良い写真を撮るために、たとえ天候が悪くても外出時はカメラを持ち、撮りたいものをすぐ撮れるようにすることや、より早くその場面に合った設定に変えられるようにすることを意識しているという菅澤さん。

今回金賞を受賞した写真も、学校から帰る途中の駅で電車を待っている時に美しいと思った情景を撮影しました。「当時は雨が降っていてカメラを扱うには合わない天気でしたが、濡れたアスファルトの反射や灯りに照らし出される雨、遠くに見える電車の光がとても美しく見え、その時の景色をそのままの色合いで撮ることを大切にしながら撮影しました」と当時の気持ちを語ってくれました。

— 今後の目標

今までがむしゃらに頑張ってきましたが、振り返ってみればその努力は楽しみながらやっていたと思います。初めのうちは、友人との間には努力しても埋まらない才能の差があると思っ挫折しそうになりましたが、今では写真が大好きになり努力することが苦ではなくなりました。今後は、自分の世界観や視点が再現できたもの、理想的に映ったものを撮影し、自主的に写真展やコンテストに参加して、さらに活躍していきたいと思います。



▲透明に染まる (金賞を受賞した作品)

あとがき

◆今月号では、保育所の節分(豆まき)にお邪魔しました。各保育所で鬼が登場すると、あちこちで泣き出したり逃げ回る子どもたちで大パニック(汗)取材に行った僕も第二保育所で先生鬼に襲われました(笑)。子どもたちが退治してくれたので事なきを得ました！◆やっぱり日本の伝統文化ってよいですね。今も昔も節分の豆まきや餅つきなどをしてる子どもたちは、共通して笑顔で楽しそです。◆現代は、テレビゲームや携帯・パソコンゲームで遊ぶことが主流の時代ですが、あらためて日本の伝統行事を体験することや凧揚げやベーゴマ、竹馬などの昔の遊びをするのもよいものだと感じます。◆僕も昔の遊びを少しだけ知る昭和生まれとして、その部分の伝統も発信していけるとよいのかなあと感じます。(D)

◆少し肌寒いけれど心地よい空気、薄いピンクとオレンジが混ざったような空の色、水たまりに反射する柔らかな太陽の光。朝の光景の中に春の訪れを感じる気持ちの良い季節になりました。◆春と言えば「お花見」。昨年はなかなか予定が決まらず、桜が散ってしまったという失敗をしてしまったので、今年からは早めに計画を立てて満開の桜の下でお花見をしたいと思えます！◆11月号から掲載を始めた「しばやまスター名鑑」。今後も頑張っている人たちをたくさん紹介して、皆さんに元気を与えられるようなコーナーにしていきたいと思っています！◆一生懸命頑張っている姿を伝えたい、大会やコンクールで取めた優秀な成績を紹介してほしいなど、広報への掲載を希望される方はご連絡ください！(M)